

大阪厚生信用金庫の環境への取組みについて

大阪厚生信用金庫では、地球温暖化防止対策として、お客様、自治体、金庫職員が一体となって「環境」や「緑化」に取り組む『こうせい エコエコキャンペーン』を実施しています。

【「こうせいエコ定期『わかば』」の販売】

平成 20 年 8 月より、「こうせいエコ定期『わかば』」を販売しております。この商品は、お客様からお預かりした「こうせいエコ定期『わかば』」の毎年 3 月末の預入残高に対して 0.02%を当金庫から「大阪府みどりの基金」へ寄付させていただきます。

「大阪府みどりの基金」は、小学校の校庭の芝生化や地域の緑化、自然環境の保全などに取り組んでおり、お客様は「こうせいエコ定期『わかば』」を通じて、間接的に大阪府の緑化活動にご協力いただくこととなります。

なお、趣旨に多数ご賛同いただいた結果、「こうせいエコ定期『わかば』」の 2019 年 3 月末の残高は 251 億 3,090 万 4,350 円となっております。

【「地球温暖化対策支援ローン『こうせいエコ計画』」の販売】

平成 20 年 10 月より、太陽光発電システム・ガスコージェネレーションシステム・高効率給湯器等の設置工事費用を低金利でご融資する『こうせいエコ計画』を販売しています。

【大阪府のアドプトフォレスト四條畷市南野「生駒山系花屏風活動」への参画】

大阪府は、企業の参画を得て、放置された人工林や竹林など荒廃した森林の広葉樹化を推進する「アドプトフォレスト制度」を実施しています。

当金庫は、平成 22 年 4 月より、金融機関としては「アドプトフォレスト制度」参加第 1 号として、生駒山系に花木を植栽していく「生駒山系花屏風活動」に参画しています。これまでに桜苗木の植樹や草刈りを実施、今後も大阪府等と連携して森づくり活動に取り組んでまいります。

【「緑のカーテン運動」の実施】

夏の暑い時期、当金庫の営業店の壁を「緑のカーテン」で覆う、「緑のカーテン運動」を実施しています。「緑のカーテン」とは、つるを持った植物（あさがお等）でつくる自然のカーテンのことで、ネットを用意して、そこに植物の蔓を這わせて作ります。小さな緑の日陰効果、二酸化炭素削減及び消費電力節約の効果があります。

【夏期早帰り運動】

節電の取組みとして、当金庫では夏期（7 月、8 月）の業務終了時間を 15～

30分繰り上げています。始業時間は変更していません。この取組み実施以前から夏期は定時退庫を励行していましたが、より節電を意識するため、また、職員の心身の健康を守るために、業務終了時間を繰り上げました。この取組みによって、2014～2018年の7月、8月合計で時間外勤務時間数を8,000時間以上削減できています。（それぞれ2013年の同月比）